



夢に向かって こぎだし 伸びゆき はばたこう

校長 竹下 高代

令和8年が始まりました。穏やかに新年を迎え、心新たに1年の抱負を決められた方も多いことと存じます。皆様と子供たちの健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

さて、冬休み明け初日の6日は、とても寒い朝でした。しかし、磯辺小学校の子供たちは、いつもと同じように元気に登校してきました。「初日だから早く来ました!」と、教えてくれる子供もいて、その心構えをととても嬉しく思いました。

新しい年が始まると、自然と「今年も頑張るぞ」とか、「もう一度1から頑張ってみよう」という気持ちが湧き出てきます。夢や願いがなければ、頑張る気持ちは生まれてこないですし、ドイツの文豪ゲーテの「人は結局自分が本気で『なりたい』と思ったものにしかなることはできない。だからこそ、高い理想をもつことが大切なのだ」との言葉にもある通り、「なりたい自分」になるためには、夢や願いはとても大切なものです。そこで、年頭にあたり子供たちには、頑張ることをそれぞれ考えてもらっています。

初日の集会の後、各教室を覗いてみました。すると、「勉強を頑張る。そのために話をよく聞く。」と書いている子がいました。なぜ「話をよく聞く」なのかを尋ねたところ、「話を聞くことが勉強がわかるようになる第一歩だと思うから」と答えてくれました。「話をよく聞き、自分の考えを整理し、友達と自分の考えを比較し、自分の考えを深める、広げる、確かなものにする」という学習の本質をよくわかっているなあと、感心しました。また、「音楽で楽譜を見ないで演奏できるようにする」と書いている子がいました。音楽が好きなのか尋ねてみたところ、「苦手だ」と教えてくれました。自分の得意なこともしっかりとわかっている子でしたが、「あえて苦手なものに挑戦し頑張る」ことを目標に掲げたことをとても立派だと思いました。

何よりも大切なことは、その夢や願いを夢や願いのままに終わらせないことです。「継続は力なり」。子供たちには、目標を達成するよう努め、その喜びを味わってほしいと思います。

太陽(丙)と午(馬)の組み合わせである丙午(ひのえうま)年が始まりました。子供たちが、「強い意志をもち、明るく元気に、自分の道を切り開き、進んでいける」ことを願っています。子供たちの目標と学校生活が、馬九行久(うまくいく)こと、そして、たくさんの経験や学びを通して大いに成長し、校歌にもある通り「夢に向かってこぎだし、伸びゆき、はばたいて」いけるよう、職員一丸となって今年も支援してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、本年もご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



